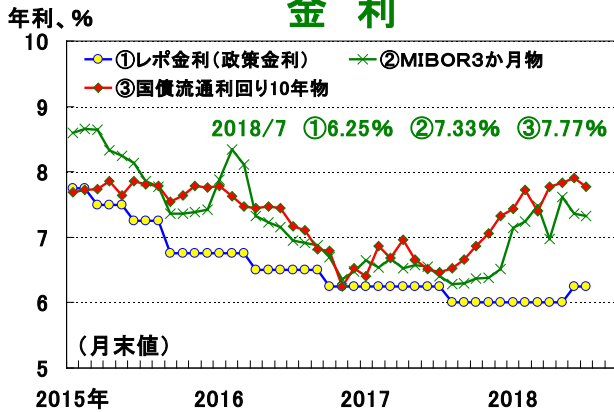


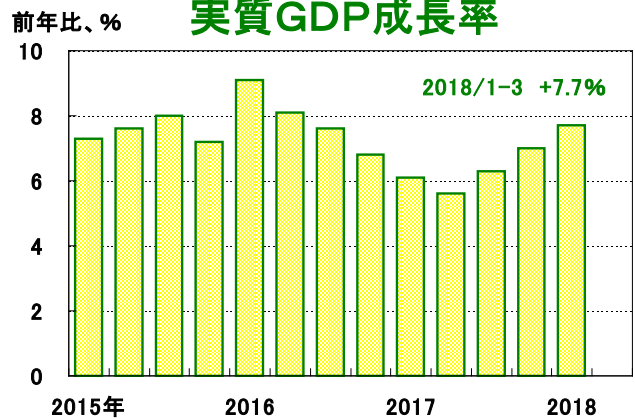
グラフで見るインド経済 2018年8月号(No. 104)

インド景気は回復基調にある。6月のコア産業生産指数は前年比+6.7%と7か月ぶりの高い伸びとなり、7月の製造業PMIも52.3と12か月連続で中立水準の50を上回った。外需をみると、6月の輸出は前年比+17.6%と2か月連続で2桁の伸びを維持している。内需についても、6月の新車販売台数が前年比+37.5%と大幅に加速した。一方、6月の消費者物価は前年比+5.00%と2018年1月以来の高い伸びとなった。この状況下、インド中銀は8月1日に物価上昇圧力を抑えるため、6月6日に続く追加の利上げに踏み切った(6.25%→6.50%)。

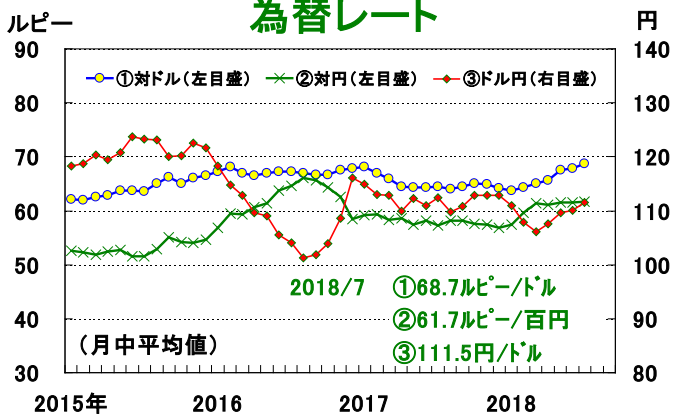
金利



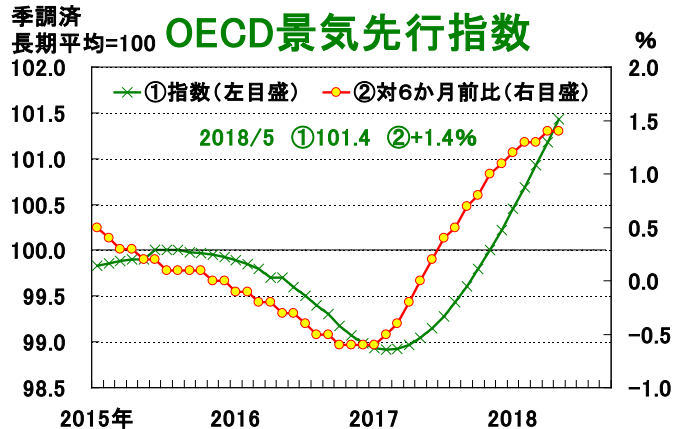
実質GDP成長率



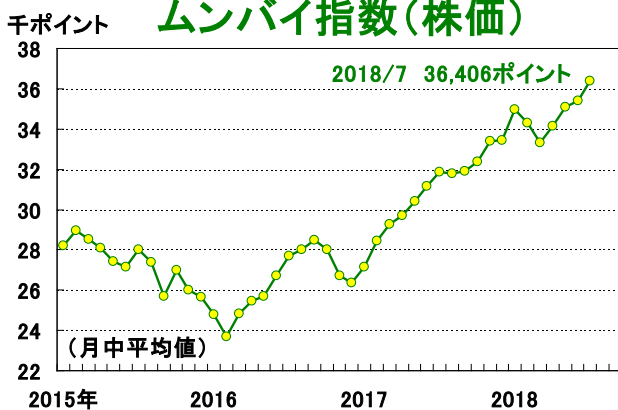
為替レート



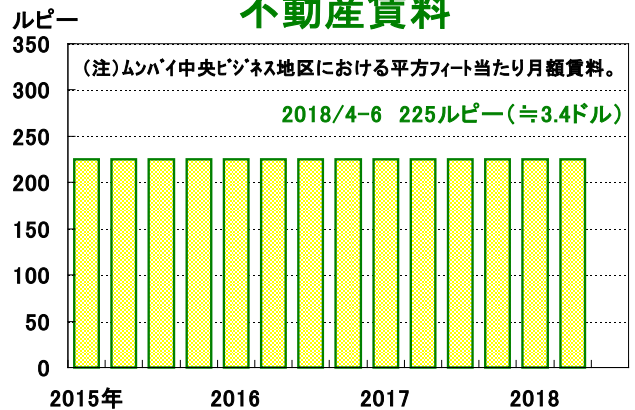
OECD景気先行指数



ムンバイ指数(株価)



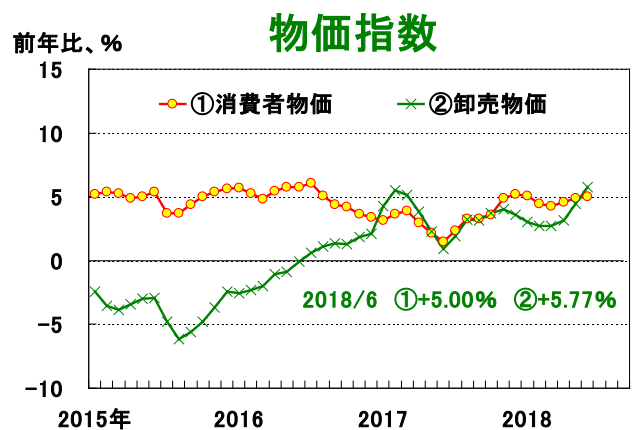
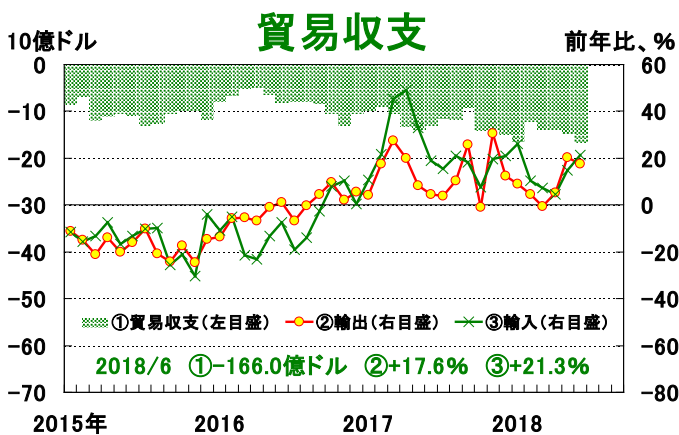
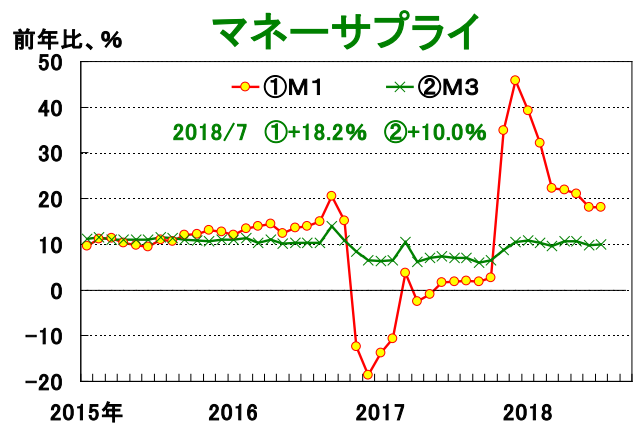
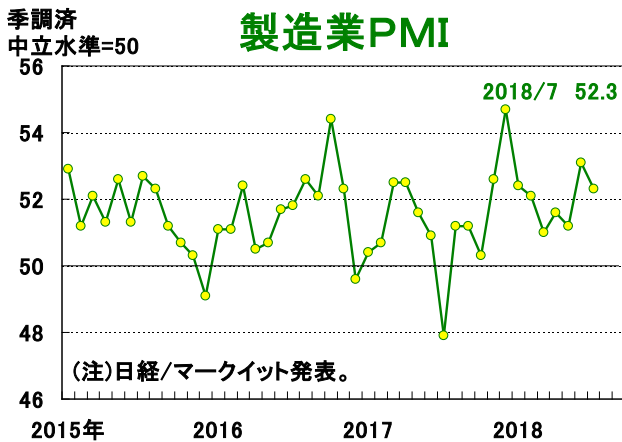
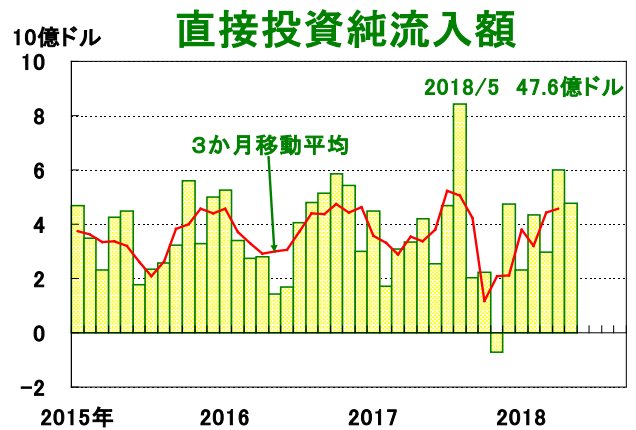
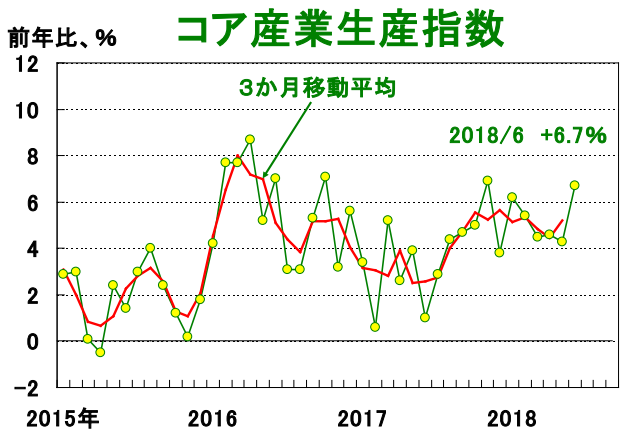
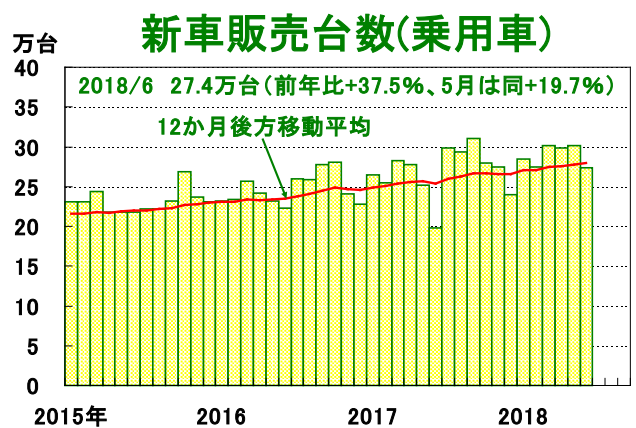
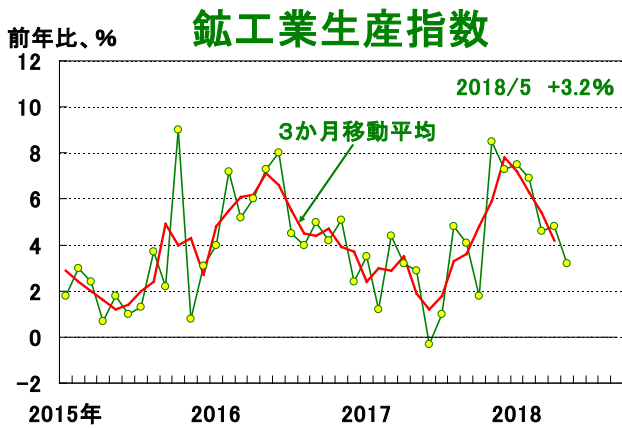
不動産賃料



【今月のトピック:インドの名目GDPが世界ランキング6位に上昇】世界銀行が集計したデータにより、2017年のインドの名目GDP(国内総生産)が世界第6位となったことが明らかになった。インドの名目GDPは2兆5,975億ドルで、フランスの2兆5,825億ドルを上回った。政権幹部は、モディ政権の政策運営の効果により、インドは直接投資の対象として魅力的な地域に変貌したと指摘している。あわせて、現状の成長を持続すれば、2018年にはインドは英国を追い抜き、世界第5位の経済大国になるとの見通しを示している。

(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。